

# 1. 通信制大学院 履修の進め方

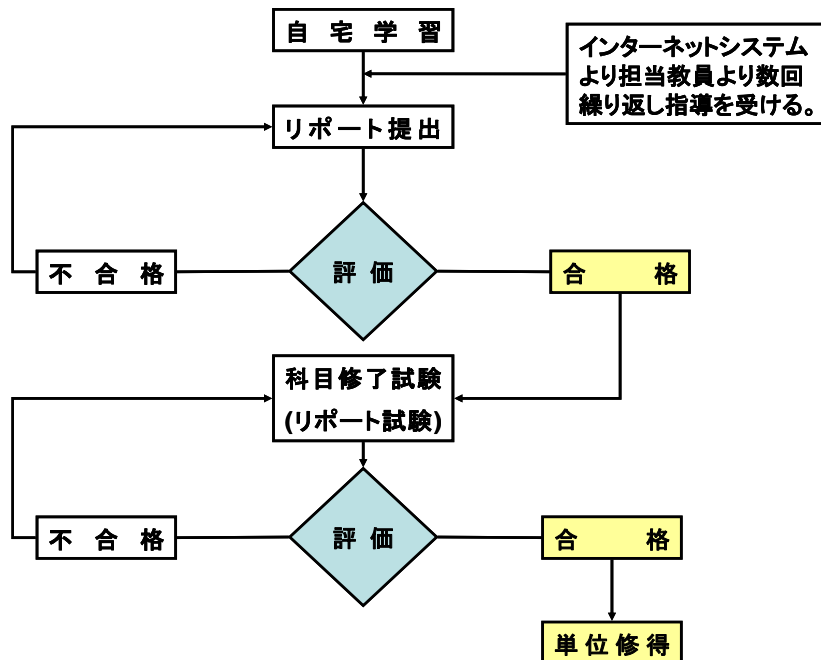
明治国際医療大学 大学院 修士課程 鍼灸学専攻（通信教育課程）では、①印刷教材等による授業と②印刷教材等による授業と面接授業を組み合わせた授業の2つの履修形態を設定しています。

## （1）印刷教材等（インターネットサイト「MDLS」上の学習支援システム）による授業

印刷教材等による授業については、自宅等において、MDLS（裏面参照）の「学修支援システム」を用い、教員が提示する資料（動画）、指定したテキスト、参考図書、参考文献等により自ら学修・研究を進めていただきます。

個々の学修が終了した後課される小テストの回答や、単位認定試験のレポート提出についてもMDLSを用いて実施していただくこととなります。

### 【印刷教材等による授業における履修のイメージ図】



※ 本システム使用にあたっては、パソコン環境とインターネット接続環境（ADSL, CATV, 光回線など）が必要となります。つきましては、通信制大学院の履修では、別紙「クライアント推奨スペック」のとおり動作環境のパソコン及び周辺機器が必要となりますので十分ご留意下さい。

## （2）面接授業（スクーリング）

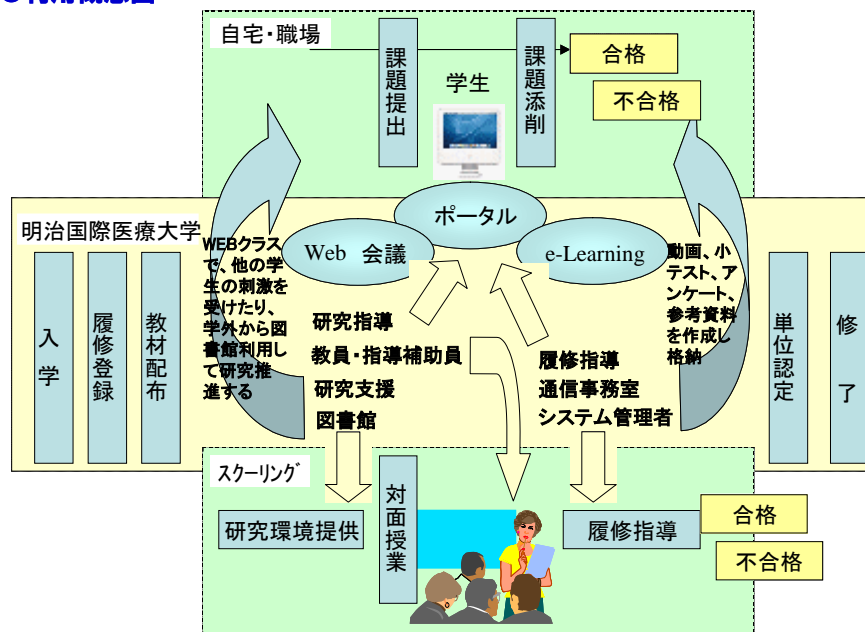
専門科目においては、面接授業（スクーリング）を、大学の附属施設等（キャンパス内に設置する附属病院、附属鍼灸センターもしくは校舎内の研究室等）において、原則として毎月第三土曜日・日曜日で集中的に実施します。特に研究方法論に関する内容を学修・修得するためにはインターネット上の学外（自宅等）授業だけでは限界があることから、面接授業における解説・指導により効果的に指導を行います。

## 2. 通信制大学院 e-ラーニングシステム (MDLS)

大学院 修士課程 鍼灸学専攻 (通信教育課程) では、パソコンを用いたインターネット上のシステム、「明治国際医療大学 通信制大学院 e-ラーニング システム Meiji Distance Learning System」通称 MDLS(マドラス)により学修を進めていただきます。

このシステムは、個人ごとにカスタマイズされた「自分専用の画面」がインターネット上に用意されるもので、自宅で学修・研究指導を受ける通信制大学院生にとって大学との窓口となり、教員と学生、学生間のコミュニケーションを時間と場所の制約なく実現します。

### ●利用概念図



MDLSは、個人認証により個別にメニュー化された次の3つの機能を提供します。

### 1. 「ポータルサイト」による学生支援機能

学外にいる学生に対し、通学生同様の学生生活を実現するための大学の総合窓口です。大学からのお知らせ、メッセージのやりとり、フォーラム (掲示板機能)、学術資料を利用するための附属図書館へのアクセス、学術文献にアクセス可能なリンク等を提供します。また、諸届け等事務手続きに必要な書類様式のダウンロードも行う事ができます。

機能内容；メッセージ (メール機能)、お知らせ、イベント情報、

フォーラム (掲示板)、各種ファイルダウンロード 他

### 2. 「学修支援システム」による学修指導機能

「学修支援システム」に提示された授業科目の教材や参考資料を取得して、与えられた課題に対するレポートを作成し、指導教員等による指導を受けて頂きます。学生個人ごとに履修科目の開講情報を提供します。また、理解度を確認する小テストの回答や単位認定試験受験に係るレポート提出も行っていただきます。

機能内容；教材提示、小テスト、課題のレポート提出、学習内容に対する質問等

### 3. 「WEB会議システム」によるコミュニケーション機能

研究指導教員との関係や学生同士の関係を強化し、学生の意識を喚起し、学修継続意欲を高めることを目的に、複数人が同時に相手の映像を見ながら会話することが出来るシステムです。